



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社テクノスジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3666 URL http://www.tecnos.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉岡 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 希与志 (TEL) 03-3374-1212
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,620	17.2	△233	—	△222	—	△233	—
2019年3月期第2四半期	3,088	17.2	370	8.7	404	17.4	277	85.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △606百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 351百万円(135.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第2四半期	円 銭 △11.86	円 銭 —
2019年3月期第2四半期	14.06	14.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第2四半期	百万円 6,291	百万円 4,425	% 70.0
2019年3月期	7,383	5,340	72.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,406百万円 2019年3月期 5,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 16.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,351	5.4	102	△87.0	112	△86.8	70	△95.0	3.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	20,400,000株	2019年3月期	20,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	680,200株	2019年3月期	680,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	19,719,800株	2019年3月期2Q	19,718,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景とした効率化への投資増加や堅調な企業業績が景気の緩やかな回復基調を下支えたものの、米中、日韓の貿易摩擦、中国経済の減退、欧州の政治情勢混乱など、世界情勢の懸念点も多く、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済環境において、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業収支の底堅さを背景にIT投資需要が増加基調にある一方で、その需要に対して国内IT技術者が不足傾向にあり、この状況は今後も継続する見込みであります。

このような状況の中、当社グループはERP関連事業と、ビッグデータ・IoT・ブロックチェーン等の技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)推進事業を柱に、グローバルへのビジネス展開を推進しながら、外国人材の積極採用や海外を含めたグループ会社間の人材交流を進めてまいりました。ERP関連事業においてはこれまで培ってきたプロジェクト推進方法論の体系化、標準化や、新技術の積極的な取り込みによるサービスの付加価値向上を、DX推進事業においてはお客様や投資先、ベンチャー企業と新サービスの協創を推進してまいりました。

しかしながら、特定プロジェクトにおいて当初の開発予算を大幅に超過して不採算化したため、損失額584,116千円を早期に処理し、当第2四半期連結会計期間に計上いたしました。なお、当社の財務基盤は安定しており、本プロジェクトの損失による当社の財政状態への影響は軽微です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,620,871千円(前年同期比17.2%増)、営業損失233,479千円(前年同期は営業利益370,019千円)、経常損失222,187千円(前年同期は経常利益404,632千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失233,949千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益277,153千円)となりました。

業務区分別の業績については次のとおりであります。

a 基幹システム及び周辺ソリューション

製造業、商社・小売業向けのERPシステム導入支援業務を中心に、売上高は3,577,995千円(前年同期比16.6%増)となりました。

b その他

ツール・ライセンスの販売等により、売上高は42,875千円(前年同期比121.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,091,704千円減少し6,291,878千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ676,973千円減少し3,558,990千円となりました。これは主に現金及び預金が606,244千円、売掛金が76,389千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ414,731千円減少し2,732,887千円となりました。これは主に投資有価証券が469,833千円減少し、建物附属設備が94,782千円増加したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ175,777千円減少し1,866,857千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ36,322千円減少し1,417,964千円となりました。これは主に前受金が613,023千円増加し、未払法人税等が504,343千円、買掛金が99,709千円減少したこと等によるものでありま

す。

(固定負債)

固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ139,455千円減少し448,892千円となりました。これは主に繰延税金負債が179,854千円減少し、資産除去債務が37,697千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ915,927千円減少し4,425,020千円となりました。これは主に利益剰余金が550,150千円、その他有価証券評価差額金が360,394千円減少したこと等によるものであります。

④キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、606,244千円減少し1,158,923千円（前連結会計年度1,765,167千円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、26,404千円増加し△162,335千円（前年同四半期連結累計期間△188,740千円）となりました。これは主に前受金の増加、法人税等の支払額の増加、仕入債務の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、116,841千円増加し△125,095千円（前年同四半期連結累計期間△241,936千円）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出の増加、有形固定資産の取得による支出の増加等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、341,231千円減少し△315,003千円（前年同四半期連結累計期間26,227千円）となりました。これは短期借入金の減少、配当金の支払額の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績見通しにつきましては、本日開示いたしました「プロジェクト損失（営業損失）の計上・第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,765,167	1,158,923
売掛金	1,692,879	1,616,489
仕掛品	594,218	592,799
前渡金	53,522	76,964
前払費用	64,711	88,075
その他	65,464	25,737
流動資産合計	4,235,963	3,558,990
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	107,027	201,810
減価償却累計額	△52,311	△55,424
建物附属設備 (純額)	54,715	146,385
工具、器具及び備品	67,350	84,617
減価償却累計額	△51,443	△55,698
工具、器具及び備品 (純額)	15,907	28,918
建設仮勘定	14,905	—
有形固定資産合計	85,527	175,304
無形固定資産		
ソフトウェア	32,268	21,732
顧客関連資産	193,602	179,829
のれん	136,788	128,668
その他	36	36
無形固定資産合計	362,695	330,266
投資その他の資産		
投資有価証券	2,358,892	1,889,059
長期前払費用	33,772	37,105
繰延税金資産	9,265	3,479
敷金及び保証金	203,035	200,489
保険積立金	76,294	79,010
その他	18,134	18,173
投資その他の資産合計	2,699,395	2,227,316
固定資産合計	3,147,619	2,732,887
資産合計	7,383,582	6,291,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	475,079	375,370
未払金	114,539	54,522
未払費用	71,350	111,342
未払法人税等	526,848	22,504
未払消費税等	6,727	38,485
前受金	84,572	697,596
品質保証引当金	6,712	32,256
受注損失引当金	22,580	29,096
賞与引当金	107,052	28,916
役員賞与引当金	19,425	479
その他	19,399	27,393
流動負債合計	1,454,286	1,417,964
固定負債		
繰延税金負債	539,933	360,079
資産除去債務	33,925	71,623
その他	14,488	17,190
固定負債合計	588,347	448,892
負債合計	2,042,634	1,866,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	206,412	206,412
利益剰余金	3,862,077	3,311,927
自己株式	△579,839	△579,839
株主資本合計	4,051,170	3,501,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,279,385	918,991
為替換算調整勘定	△602	△13,323
その他の包括利益累計額合計	1,278,782	905,667
新株予約権	6,946	6,946
非支配株主持分	4,048	11,385
純資産合計	5,340,948	4,425,020
負債純資産合計	7,383,582	6,291,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,088,736	3,620,871
売上原価	2,322,652	3,229,260
売上総利益	766,083	391,610
販売費及び一般管理費	396,064	625,090
営業利益又は営業損失(△)	370,019	△233,479
営業外収益		
受取利息	7	7
有価証券利息	645	311
受取配当金	2,520	9,200
持分法による投資利益	27,833	—
助成金収入	3,759	—
その他	876	2,719
営業外収益合計	35,641	12,238
営業外費用		
支払利息	603	569
為替差損	425	377
営業外費用合計	1,028	946
経常利益又は経常損失(△)	404,632	△222,187
特別損失		
保険解約損	—	127
特別損失合計	—	127
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	404,632	△222,315
法人税、住民税及び事業税	83,534	24,792
法人税等調整額	43,944	△13,642
法人税等合計	127,478	11,150
四半期純利益又は四半期純損失(△)	277,153	△233,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	483
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	277,153	△233,949

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	277,153	△233,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,082	△360,394
為替換算調整勘定	7,759	△13,082
その他の包括利益合計	74,841	△373,476
四半期包括利益	351,994	△606,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,994	△607,073
非支配株主に係る四半期包括利益	—	130

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	404,632	△222,315
減価償却費	18,855	34,297
保険解約損	—	127
のれん償却額	—	11,472
品質保証引当金の増減額(△は減少)	4,304	25,543
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△10	6,516
賞与引当金の増減額(△は減少)	△121,232	△78,291
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△18,937
受取利息及び受取配当金	△3,172	△9,518
支払利息	603	569
持分法による投資損益(△は益)	△27,833	—
雑収入	△304	—
売上債権の増減額(△は増加)	△117,078	72,500
たな卸資産の増減額(△は増加)	△156,993	2,391
仕入債務の増減額(△は減少)	91,295	△97,488
未払金の増減額(△は減少)	△8,118	△52,996
前受金の増減額(△は減少)	15,589	613,929
その他の資産の増減額(△は増加)	△61,225	△8,653
その他の負債の増減額(△は減少)	△72,131	60,102
小計	△32,822	339,248
利息及び配当金の受取額	5,011	8,641
利息の支払額	△603	△569
法人税等の支払額	△135,932	△509,656
役員退職慰労金の支払額	△24,393	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△188,740	△162,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△49,998
有形固定資産の取得による支出	△5,378	△66,166
資産除去債務の履行による支出	—	△7,000
無形固定資産の取得による支出	△4,720	△1,507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△324,597	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,249	△6,365
敷金及び保証金の回収による収入	—	8,786
保険積立金の積立による支出	△5,990	△5,906
保険積立金の解約による収入	—	3,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,936	△125,095

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	—
配当金の支払額	△373,773	△315,003
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,227	△315,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,635	△3,809
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△401,814	△606,244
現金及び現金同等物の期首残高	1,485,093	1,765,167
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,002	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,124,281	1,158,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であったLirik Software Services Canada Ltd.について、重要性が増したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

当社は、2019年7月31日開催の取締役会に基づき、2019年10月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社テクノスグローバルカンパニーを吸収合併いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称	株式会社テクノスグローバルカンパニー
事業の内容	情報処理に関するソフトウェア・Webサイトの開発・製造・販売及び保守に関する業務 他

② 企業結合日

2019年10月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社テクノスグローバルカンパニーを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社テクノスジャパン

⑤ その他取引の概要に関する事項

株式会社テクノスグローバルカンパニーはグループの海外におけるソリューションビジネスの推進、管理を目的として設立しましたが、当社グループ体制の見直しを図り、経営効率を高め事業体制をより一層強化していくため、当社を存続会社として、株式会社テクノスグローバルカンパニーを吸収合併することといたしました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行いました。

なお、当該吸収合併は、連結財務諸表上、内部取引として相殺消去されるため、損益に与える影響はありません。